

若者のための夏の特別講座 2025

いつのまにやら〇〇〇〇

第2回 自分の言葉で対話しよう

笑察カフェ

やってみましょう

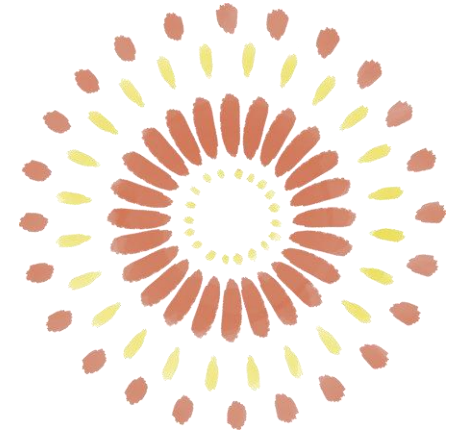
2025年8月1日

地域共生社会推進課

竜王真紀

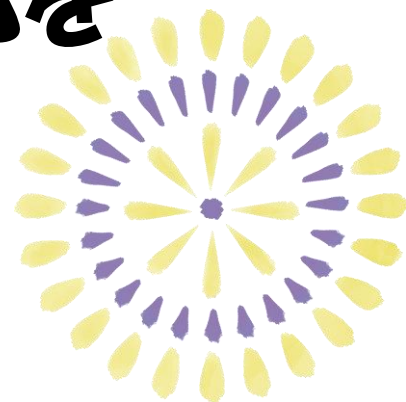
若者版 笑(省)察力フェ 本日の目的

1. 交流しましょう
2. 自分を知りましょう
3. 仲間のことも知りましょう



こんな風になれたらなあ～

- ◎自分自身の良さ・強みを「自分の言葉」で語れる。
- ◎自分自身の良さ・強みに気づこう。
- ◎他者の考えを聞き、視野や考え方のフレームを広げよう。(引き出しを増やそう)



自分に自信が持て、歩みだそう。

省察(せいさつ・しょうさつ)とは

省察的实践者: ドナルド・アラン・ショーンが提唱した略語
「reflective practitioner」

cf: ふいかえり、内省、反省、リフレクション



自分自身が**大切に**してきたもの(価値観、信念、暗黙知)を**意識化**し、振り返り、「**ことば**」にして、改めて肯定的に捉える学び自分にとって、良いと思われるものに、気づき、それを**ことば**にして再認識する学習

省察的な学びとは



① 子どもの学習は**形成**、
大人の学習は**意識変容**

② **対話**を大切にする

③ **記録**に残す



笑察

いつのまにやら思考のコツ

1回目の講義より

●対話を意識していきましょう

特別講座では、仲間の意見を大切にしましょう。同時に自分の意見も大切に。多様な価値観や意見を受け入れながら、自分の中の“大切”を育てていきましょう。

●変化を楽しむ

各自、いろんな想いを持ってこの特別講座に参加しています。6回の講座を通じて、変わっていく自分や仲間の姿を楽しんでみてください。

●なんども立ち止まろう

いつのまにやら思考の最大のポイントは、急がないこと。なにか違和感を感じたら、立ち止まったり、仲間に相談したりしながらまた進んでみましょう。

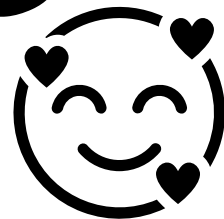
あなたの「いつのまにやら〇〇〇〇」が見つかりますように。

時間	所要時間	内 容
19:15	5分	笑察力フェとは 目的
19:20	10分	やり方説明 個人ワーク
19:30	60分	ラウンドテーブルでの対話 自己紹介 15分×4人
20:30	10分	ふいかえり 本日のテーマにそった一言アドバイス
20:40	5分	自己のアンケート
20:45		終了

グラウンドルール

- ①相手の話を敬意を持って聞く
- ②質問は指摘ではない
- ③メモや記録を取る
- ④守秘義務は守る
- ⑤楽しい雰囲気を作る
笑顔忘れずに

心理的安全性
の確保



個人ワーク・ 私の推し(オシ)

自分の推し:好きなもの・好きなことを3つ書いてください。A3の紙にフロッッキーで3つ書く
好きな時間、好きな食べ物、好きな本、好きな人、趣味、特技、好きな言葉なんでも良いよ。

ラウンドテーブルの方法

省察的ワークショップ。三輪建二式ラウンドテーブルを
本日のためにアレンジしました。

①4人でグループになり、まず一人の人が、
私の「オシ」を語る。

他のメンバーは、メモしながら聞き入る。（10分）

②他のメンバーは、その話が終わってから「もう
ちょっと詳しく教えて～」を聞き、対話する。（5分）。

③ラウンドする

ラウンドテーブル 1人目

- ・自己紹介
- ・自分が書いた「私の推し(オシ)」を語ろう。
(10分間)

他のメンバーは
傾聴し、

対話

「もうちょっと教えて」
を問いかける
→問いかけに自分の
言葉で応える。

考えてみよう

「オシニ好き」って
なんだろう



自分のオシ(好き)を考えること ワークを通じて

- ・オシは自分を構成するもの、**強み**でもある
- ・オシを語れることは自分を語ること、自分を見つめる時間
- ・相手のオシを聞くことでその人を知れた
違った価値観にふれた
- ・オシは変わるもの 1年後の自分のオシは違う
オシの変化は自分の成長である
- ・言葉にして自分に問いかけること、自分を気づくことが
大切



オシを増やしてほしい

≡ 自分の良いところを増やそう

→ いろいろな人と出会い、対話を
して、自分のフレーム(殻)を広げ
ていこう！

省察(笑察)は、対話で深まる



求められる若手人材

自分自身を認められ、相手や仲間も認められる人
(自己効力感がある人)。



互いの喜び、楽しさ、痛み、
分かち合え、協働できる人。



お疲れ様でした。

表紙イラスト 亀助さん